

同窓生の皆様へ

会長 田中シゲ子



秋も深まり、こちよ日々が過ぎて居ります。

会員の皆様には、お元気でござしの事と存じます。

さて、久しい間ご無沙汰してましたひじり会々報を、幹事の方たちのご努力のおかげで、皆様のお手元におくります事になりました。

いつもお便りするたびに申し上げるのですが、学校は、ますます発展の一途を歩み続けており、今や日本でも有数の女子大学として存在して居ります。

松戸校舎は益々立派になり、三田校舎も内容が充実し、多くの学生の学び舎として発展して居ります。学生減少の時代にもかかわらず、「保育の聖徳」として有名な存在となり、保育専門学校としての名声を高めて居ります。

春の研修旅行、夏の志賀高原や北海道への研修旅行の楽しさをおぼえていらつしやるでしょうが、今も毎年行われ、学生達はとても楽しみにしている様です。よい思

第 14 号

発行所

聖徳学園高等保育学校
同窓会
聖徳学園短期大学教員
養成所同窓会
聖徳学園短期大学付属
教員保育養成所同窓会
聖徳大学幼児教育専門
学校同窓会
港区三田3丁目4番28号
郵便番号 108-0073
電話03(5476)8811代表

法人本部が松戸校へ移転

三田校舎にありました学校法人本部が今年四月より松戸校舎八号館クリスタルホール四階、五階に事務局関係がまとまりました。三田校舎には学務課のこつております。また地下にあった教員室は事務局の奥に移りスペースも広く明るくなりました。是非一度母校をお尋ねください。

保育者が入学してきており、学習をすすめております。本年度より(平成十一年)文部省では、一種免許状を所持し保育者として社会経験を積んでいる人に対して、より高度な学習や研究をして頂く為に、短大卒業生、専門学校卒業生であっても、大学院に入学することを許可されるようになりました。すでに専門学校卒業生が入学しております。詳細につきましては大学教務センター(松戸校)へご相談ください。

また本学大学院では平成十二年四月より博士課程も開設される予定です。嬉しく思います。

「母校の近況」

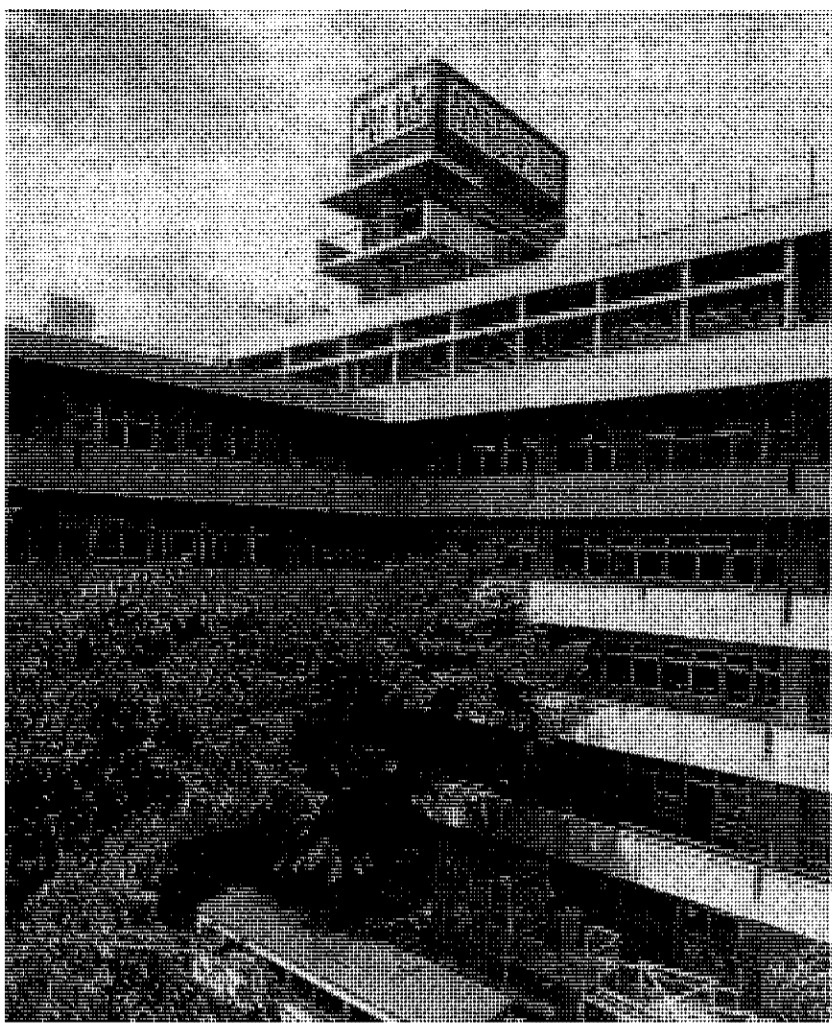
幼児教育専門学校長 川並光昭



卒業生の皆様 こんにちは！皆様お元気でお過ごしですか。

本校は聖徳学園の中でも戦後最初に復興し再開しました。昨年は創立者川並香順先生の生誕一〇〇年で全学園を挙げて記念行事を行いました。建学の精神「和」について認識を新にしました。しかし、本校は少子化の波にもまれ、ここ数年入学生が減少し、苦戦しています。また、長い間皆様に親しまれてきた高輪寮、聖香寮も平成十二年三月、建物の老朽と入寮生の減少に伴い閉鎖されることになりました。

しかし、学生は一生懸命で勉強しています。この度の法改正により専門学校から大学の三年編入も可能になり、平成十二年四月には聖徳大学児童学科三年に進学する学生も出てきました。社会的にも専門学校の卒業生は「専門士」として高く評価される様になりました。「保育の聖徳」として知られる聖徳大学には児童学研究科の大学院の通信教育も開設され、ますます充実されてまいりましたが、聖徳大学の元祖とも言わべき三田の「火」を消す訳にはまいりません。どうか皆様のお力添えで一人でも多くの後輩が排出されるようご協力賜りたく存じます。勿論卒業生の子女として、或いは紹介者によるものなど特別優先入学の制度も用意してあります。どうぞよろしくお願ひ致します。



ひじり会の皆様には、ご無沙汰申し上げておりますがおかわりなく活躍の事とお慶び申し上げます。私は一昨年より体調をくずし、入・退院を繰り返して参りましたが今夏の手術で故障の箇所を取り除きましたので、これで一応元のようになり元気に働けるものと思っております。



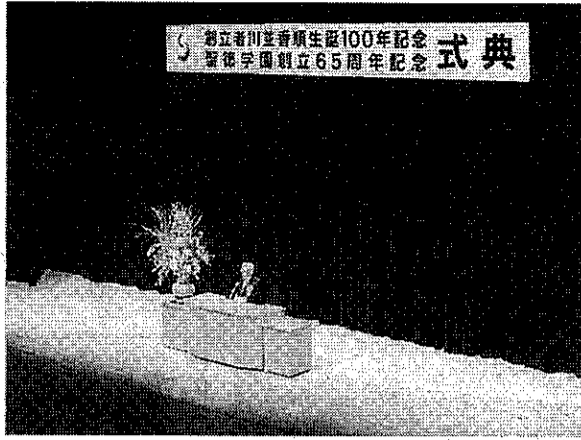
母校は創立六十六年を迎え、ひじり会の会員も一万人を超えるほどになりました。卒業生の多くの諸姉が保育界で活躍している姿を見るにつけ、「保育の聖徳」として

社会から認められた結果であろうと嬉しく思っております。(「保育の聖徳」の名称は全国で唯一、特許庁に登録され、我が校だけが持つものです)。もうすぐ二十世紀の終結です。二十一世紀の新しい時代を生きていく皆様方の為にも、立派な保育の殿堂を築くべくこれから頑張っていく所存です。

さてこの度文部省の制度が変わり平成十一年四月からは専門学校卒業生も直接大学三年生に編入できるようにになりました。聖徳大学児童学科では、より多くの三年編入生を迎え入れる為に一〇〇名募集しましたところ、本専門学校からも希望者があり入学してきました。また本学では全国で初の通信制大学院(男女共学・昼夜あり)が設置されました。社会人にも広く門戸を開きましたので、多くの

一月二十三日(土)、創立者川並香順先生生誕百年・創立六十五周年記念式典が、聖徳大学川並記念講堂において行われました。

この式典は、建学の理念である「和」の精神を改めて見つけ、その理解をより一層深めようとの趣旨により実施されたものです。式典は、ビデオ「川並香順先生生誕百年記念「和」の時代への歩み」の上映に始まり、引き続き、理事長・学園長挨拶、聖徳中学校・高等



等学校の生徒たちによる、吹奏楽や箏、合唱、ダンスのパフォーマンス等が行われました。式典終了後は、体育館において祝宴が開かれ、和やかなうちに、盛況裏に終了いたしました。式典の実施には、大勢の教職員が参画して準備し、当日は約千名の招待客をお迎えし、約四百五十通もの電報をいただきました。生誕百年記念には、各種の記念事業も同時に実施されました。事業は学園のすべての園児、児童、生徒、学生、教職員参加のもと、生誕百年を祝うという趣旨で、シンボルマーク、ポスター、絵画、彫塑、書道などの芸術作品、作文、論文などで幅広い範囲に及び全体で二千字以上の応募があり、厳選のうえ香順特別賞、理事長賞、優秀賞、優良賞、総数で一〇八点が入賞作品として選定されました。また、香和会から大時

生誕百年に寄せて

記念式典に参加して

藤澤 理恵子

創立者川並香順先生生誕百年記念・聖徳学園創立六十五周年記念式典が、平成十一年一月二十三日(土)に聖徳大学川並記念講堂において行われました。式典には

元文部大臣の高村先生をはじめ、各界の先生方など千名以上のご来賓をお迎えしました。式典は三部構成で行われ、第一部は、ビデオ「和の時代への歩み」を上映し、香順先生の生誕から学園の開学、短期大学の創立に至るまでの、大志あふれる御姿を偲ばせて頂きました。

第二部は、理事長・学園長の川並昭昭先生のご挨拶がありました。女子教育への限らない情熱を力説されて、会場からの大きな拍手に包まれました。第三部は、本校生徒によるコマモラティブパフォウマンス―箏曲・吹奏楽の演奏、華麗な踊り、手話通訳付きの合唱等と素晴らしいアトラクションが続き、会場全体が魅了され、感動の渦に包まれ、最高の式典となりました。

川並香順先生 生誕100年 記念式典

平成11年1月23日

光栄寺を訪ねて

聖徳大学幼児教育専門学校 小松 加代子

計が寄贈されクリスタルホール入り口壁面に高々と設置され、更に同ホール正面入り口脇には流政之先生作「ありがとう」の碑が置かれ、キャンパスに新しくモニュメントが増えました。碑にはこのように刻まれてい

心につなぐ ありがとう
心をまなぶ ありがとう
心かなえる ありがとう

平成十年六月に、生誕百年という事でひじり会のメンバーで、香順先生の生誕地・岐阜光栄寺を訪ねた。光栄寺は、まわりは田んぼに囲まれたのんびりとした住宅の一角に凛として建っていた。お寺の門・お寺の脇には見上げる高さに立派な鐘楼があり、本殿などが威厳をもって出迎えてくれた。また境内には二百年以上たつ大銀杏の木がどっしりとそびえ立っている。そして本殿には国宝の阿弥陀如来像が、静かに慈愛深く私達を見ておられた。思わず姿勢を正し、深く合掌をしていた。本堂で、今このお寺を守ってくださっている管理人さんよりお話をお聞きした。

お寺を守るために一生懸命つくした香順先生のお人柄が育くまれた生活の一端をみせていただいた。岐阜で培われた人徳と実行力により東京で、保育園長となり、子どもの教育の大切さを早くから考へ、また保育者を育てる学校づくりに奔走された功績に尊敬してしまふ。旅行で一層香順先生の偉大さをあらためて感じた良い機会であった。

同窓会だより

同窓会に参加して

山中 陽子

同窓の友や先輩が懐かしく、卒業後、初めて同窓会に出席いたしました。期待感一杯で、松戸校舎内に入らせていただき、建学記念館の中の香順先生、孝子先生の等身大入形のお姿にお会いいたしました。三田校舎時代の両先生のお声や御所作、またお優しさを懐かしく思い起こしました。大学長先生御夫妻、専門学校の校長御夫妻、音楽の小谷先生、高橋先生、ピアノの利根山先生にお会いでき、当時の御指導に感謝しつつ、胸を熱くいたしました。同窓の方達との再会は、さすが共通話題多く、楽しく盛り上がり、感動いっぱいでした。実習でお世話になりました先輩、お隣合わせになりました先輩、また後輩の方達との嬉しい出会いもあり、時間は瞬く間に過ぎました。

同窓の友や先輩が懐かしく、卒業後、初めて同窓会に出席いたしました。期待感一杯で、松戸校舎内に入らせていただき、建学記念館の中の香順先生、孝子先生の等身大入形のお姿にお会いいたしました。三田校舎時代の両先生のお声や御所作、またお優しさを懐かしく思い起こしました。大学長先生御夫妻、専門学校の校長御夫妻、音楽の小谷先生、高橋先生、ピアノの利根山先生にお会いでき、当時の御指導に感謝しつつ、胸を熱くいたしました。同窓の方達との再会は、さすが共通話題多く、楽しく盛り上がり、感動いっぱいでした。実習でお世話になりました先輩、お隣合わせになりました先輩、また後輩の方達との嬉しい出会いもあり、時間は瞬く間に過ぎました。

リズム講習会について

第十八回、運動会のための、リズム講習会の御案内を配布した結果、今年も多数ご参加くださり、楽しく有意義な講習会が行われました。

会場 松戸校舎 体育館
講師 本大学教授 井上 菊雄 先生

参加者 百四十一名(外部のみ)
附属の先生方も加えて体育館が一杯になりました。



同窓会のお知らせ

同窓の皆様方とお逢いできます日が決まりました。前に参加くださいました方々は旧交を温め、懐かしい先生方と思い出を語り合い、楽しい一時を過ごし同窓会の開かれるのを待っております。三田校舎の母校も六十五周年を迎え、聖徳学園の発祥の地としての誇りをもってがんばっております。

同窓の皆様方とお逢いできます日が決まりました。前に参加くださいました方々は旧交を温め、懐かしい先生方と思い出を語り合い、楽しい一時を過ごし同窓会の開かれるのを待っております。三田校舎の母校も六十五周年を迎え、聖徳学園の発祥の地としての誇りをもってがんばっております。

同窓の皆様方とお逢いできます日が決まりました。前に参加くださいました方々は旧交を温め、懐かしい先生方と思い出を語り合い、楽しい一時を過ごし同窓会の開かれるのを待っております。三田校舎の母校も六十五周年を迎え、聖徳学園の発祥の地としての誇りをもってがんばっております。

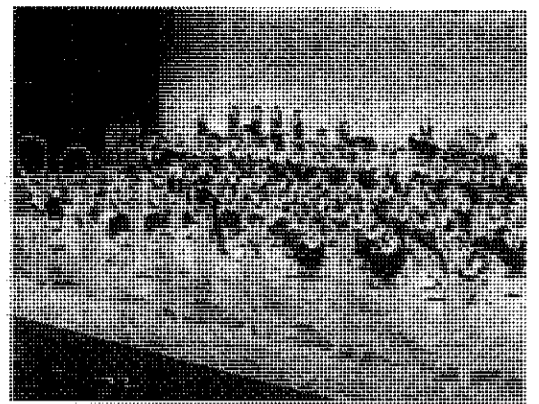
素晴らしいと思います。今年の年賀状に同級生が、聖徳を卒業したことを誇りに思う、と書かれてあり、同窓の思いを強くいたしました。皆様との嬉しい再会を願いつつ学校に感謝しつつ、是非またお会いいたしましょう。(札幌市在)

コメモラテイウパフォマンス

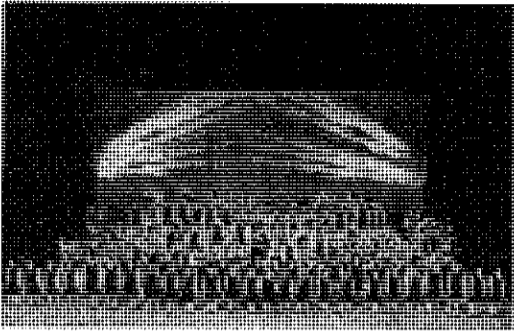
【今 光り輝く 聖徳中高】



聖徳大学附属聖徳中学校・高等学校



式典では聖徳大学附属聖徳中学校・高等学校の吹奏楽部、箏曲部、新体操部、ダンス部、体育科の生徒達が熱心、一糸乱れぬ演技を披露し、動と静を巧みに組み合わせた感動的な舞台を展開し、最後にペンライトを手にして会場を「星空」にするという演技で会場は深い感動に包まれながら静かに幕をおろしました。



香順先生の思い出

三十九年度卒 山田 順子

私が始めて香順先生にお会いしたのは昭和三十八年三月末のことです。将来の進路が定まらないまま友人の紹介で聖徳の門をくぐりました。入学式が数日後にせまっていたので、事務室の小さな窓口を開け「今からでも大丈夫ですか」と尋ねるとそこにいらしたのがゆかた姿で何か粉薬をオブラートで包んでいた香順先生でした。そして「大丈夫だよ。入るのはね、でも出るの大変だよ」ととてもやさしいお顔で言われたのを覚えています。新しい道へスタートでき香順先生には、数回でしたが特別講義という形ではありましたが、授業を受け、その中で先生は保育への熱い思いを語られていたので、よくわからないまま、「附属園に残るか」の言葉の重大さも考えず学園に就職しました。園長先生である香順先生の元で仕事が出来たのは一年間でしたが、その間先生に助けていただいたことがありました。子どもをまとめることが出来ず戸惑っている「先生の云

山本ツタ子先生の叙勲を祝う

高橋 博子



ひじり会々員で、現在、聖徳大学短期大学教授の山本ツタ子先生には、多年に亘る教育振興のご功績によって、勲五等瑞宝章の叙

うこと聞かなくちゃだめだよ」と言いながら一緒に遊んで下さったことがありました。子ども達は大喜び、私はほっとした一面面でした。私にとって大切な思い出のひとつです。先生と一緒で来た期間は三年間という短かいものでしたがその間に先生のお考えの本質を理解しきれないまま仕事を続けていた私でしたが、学園に就職してから数年は丁度、香順先生の願いが花開き聖徳が大きく成長の階段を登りはじめ変容著しい時でした。その中で仕事が出来たことにより「聖徳の心」が少しづつ私の中にしみこんでいった様な気がしています。この時期に聖徳の成長と共にいられたことを今、とてもほこりに思っています。そして香順先生にはじめてお会いした時に言われた「この学校に入るの簡単だよ、しかし、出るのはいくらも難しいよ」といわれた言葉の奥にこの仕事のむずかしさ、安易な気持ちでは続けることは出来ない仕事であることを実に簡単な言葉の中で教えてくださったことを感じています。

勲を拝受なされました。

去る六月二十五日、ニューヨークタニ松戸にて、先生を囲んでお祝いの会が、川並学長先生をはじめ、多くの方々がつどって、盛大に開催されました。うたやピアノ演奏、ミュージカルショーなど、先生のおよるごびを、みんなでわかち合う暖かな素晴らしい会でした。先生の益々のご発展をねがって。

「北歐紀行」

谷嶋光子(旧姓岩瀬)

チボリ公園のネオンサインは満開のブルーペンギンのように美しく、チボリ公園が眼下に見えるコペンハーゲンのホテルで研修旅行十日目の朝を迎えた。何よりも楽しみにしていたアンデルセンの故郷、オーデンセを訪ねる日だ。幼稚園児と長年童話に親しんで来た私は特にこの日を期待していた。首都コペンハーゲンより二時間

町に思えた。博物館はアンデルセンの生家に建てられたという。入口上部の創作切り紙作品「太陽」の装飾が印象的だった。彼が幼い時、母親の親しい古い師の占いによれば、将来多くの人に歓迎されようと言われたそう。それを物語るように大ホールには多くの市民に大歓迎されている様子「榮譽市民授賞式」(二八六七年)を表すフレスコ画が「わが生涯の物語」のエピローグとして描かれている。

のんだ。アマリエンボー宮殿はコペンハーゲンの東岸にある。海岸に沿って少し北上すると波打ち際にアンデルセンの代表的な作品にちなんだ「人魚姫」の像がある。難破した王子と、王子を助ける人魚の恋に始まるこの物語が生まれるに相應しい情景であった。アンデルセンの銅像はオーデンセばかりでなく首都コペンハーゲン他にも見られ、道路や場所の名前までアンデルセンの名が付いているそう。如何に愛されているかを実感した。

クリスチャン・アンデルセンの育った町オーデンセを訪ねることができた。「デンマークの庭」と讃えられるフェン島の中心地、小高い丘にあり、オレンジ色の低い屋根、木組の白壁の家並みが続く。アンデルセンは「花のようだ」とこの町をこよなく愛したという。今でも静かな落ち着いた可愛らしい

幼年期の家(アンデルセン博物館分館)が近くにあり、靴屋の父と過ごした小さな家、幼年期のアンデルセンはその家の窓から北歐の夜長の空を眺め、毎夜月との語り合いを楽しんだことだろう。月を「仲のよい友達」と言って、月の話(「自己のロマンチックな空想」)を軽いつつ小品の小品に綴っている。童話「絵のない絵本」の誕生を

盛夏の八月、ノルウェーでは素晴らしい自然、フィヨルドの涼しさを味わい、スウェーデンではトルの民話が生まれた森をめぐる楽しい思い出の旅であった。研修旅行の成功をささえて下さった学長先生初め、諸先生方に心より感謝をささげたい。

公募推薦入試

入試区分	願書受付期間	試験日	合否通知発送
前期	D日程 11月24日(水)~12月9日(木)	12月11日(土)	12月14日(火)
後期	A日程 12月13日(月)~1月14日(金)	1月16日(日)	1月18日(火)
	B日程 1月17日(月)~2月4日(金)	2月6日(日)	2月8日(火)
	C日程 2月7日(月)~2月25日(金)	2月27日(日)	2月29日(火)
	D日程 3月1日(水)~3月21日(火)	3月23日(木)	3月24日(金)

入試日程について

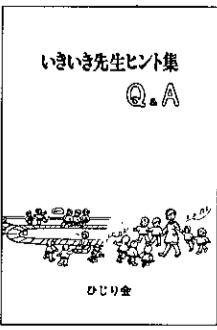
幼児教育専門学校は、上記の日程により公募推薦入試を行っております。また、一般入試も同時に行っております。

いきいき先生ヒント集 改訂版ができました。

「いきいき先生ヒント集」をお手許に。幼稚園、保育園の先生方、学生お母さん方に役立つ子育てのヒント集です。増刷にあたって内容を整理し更に読みやすくしました。

同窓会(ひじり会) 推薦入試について

平成十年度より、本学卒業生の推薦を受けた子女(孫・娘・妹など)に対し、特別枠を設けて特別推薦の入試を行うものです。ご質問、ご相談がありましたら、本学



大学院開設

前回の平成八年二月一日の会報以来松戸キャンパスは大きく変わりました。

平成十年四月一日には、大学院修士課程として

児童学専攻 児童学専攻
言語文化研究科 日本文化専攻
英米文化専攻

が認可され、授業をクリスタルホールで開始しています。ここに私たちの学園は幼稚園から大学院までの一貫教育体制が完成し総合学園となりました。本大学院は広く門戸を開き昼夜開講制、男女共学となっています。

さらに、平成十一年四月には既設の大学院児童学専攻科に通信教育学修士課程児童学専攻(男女共学)が設置され、社会人のために開かれた教育を実践する体制を整えています。

聖徳大学人文学部に音楽文化化学科開設 現代ビジネス学科開設

平成十一年度短期大学部音楽科は聖徳大学人文学部音楽文化学科として改組し、内容は作曲、声楽、器楽、古典舞踏、音楽療法コースに生まれ変わりました。古典舞踏コースは数少ない古典舞踏の指導者の育成を目標とし、音楽療法コースは「癒しの技術」として注目され、我が国ではこの分野を系統的に学べる学校は殆どありません。本学には必要な学科・専攻・教員、施設が揃い、全国でも貴重な存在となっています。

「現代ビジネス」が認可されています。優秀な人材を常に求める情報ビジネス分野として専門知識を身につけた女性が起業家として活躍できる専門的職業人の育成を目指しています。女性ならではの特性を生かす、起業家として、また社会人として活躍する女性が増えています。現代ビジネス学科は、進化し続けるビジネス界で最新の専門知識、スキル、英語力を武器に、国内外での広範な活躍は勿論、起業家としても成功し得る意欲と時代に前向きなキャリア溢れる女性を育成します。

柔軟に対応できる専門学校

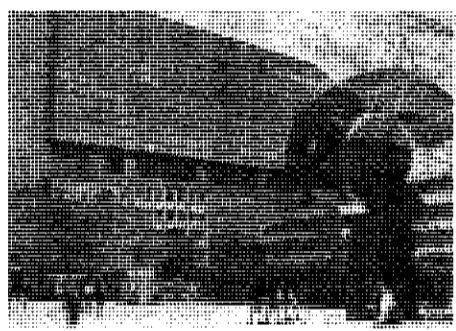
時代の不景気を反映し、資格・免許、技能が身につく専門学校が見直されていますが、同時に専門学校には個々の進路に合わせて柔軟に対応できる機動性も求められています。

本学では、専門士として社会に出ていくことは勿論、内部入試で短期大学部専攻科保育専攻(二年課程・通信教育併設)、福祉専攻(一年課程・介護福祉士の資格取得)への進学、平成十年度卒業生からは、聖徳大学人文学部児童学科への三次編入、卒業後には大学院への進学も可能になりました。近年、十八歳人口の減少により本学志願者も減少してまいりました。しかし、今後は、社会の第一線で活躍する職業人を育成し、自己のレベルアップの一里塚の持つ学校として大きく飛躍してまいりたいと存じます。

免許法認定公開講座

幼稚園教諭一種免許取得への道

本学園では、平成四年度から聖徳大学(松戸校舎)において免許法認定公開講座を毎年八月と十二月に開講しています。この公開講座は、現在二種免許状所有者が、一種免許状を取得するためのものです。たとえば、実務経験が五年の方は、この公開講座で四五単位を修得することが必要となります。実務経験によつてこの修得単位は減っていきます。(平成六年三月末の時点で実務経験十五年以上の方を除きます)また、実務経験のない方でも実務経験五年になる前に



単位を取得しておくこともできます。保育者のキャリアアップのためには是非受講を開始してください。お問い合わせ先
聖徳大学免許法認定公開講座係
〇四七―三六五―一一一(代)

創立者 川並香順先生 生誕百年記念施設整備事業資金「ご寄付のお願い」

日頃は学園発展に御協力を戴き誠に有り難うございます。さきに触れましたように、平成十年度は創立者川並香順先生生誕百年と創立六十五周年を迎えました。これも一重に皆様のお陰と感謝しております。

「優れた人材は、最高の教育環境からつくられる」とする創立者の意を継承し多年にわたる教育内容の充実と、近代的な施設・設備の整備強化に努めてまいりました。

将来を見据え、教育体制・環境の充実・整備を実践せねばなりません。しかし、教育・研究活動を充実し、多様化する社会の中で教育条件の向上には、多くの資金が必要になります。学園は独自に努力しますが、先生諸師の充実した学園生活には、皆様方諸先輩のご協力が欠かせません。時節がら出費多端の折誠に恐縮に存じますが、格別のご支援とご厚情を賜りますようお願い申し上げます。

平成9年度 決算報告 平成10年3月31日(単位 円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前年度繰越金	8,813,675	行事費	500,000
9年度維持金(241名)	1,928,000	通信費	500,000
いきいき先生会費	4,965,912	印刷費	500,000
雑費	533,925	印会費	300,000
合計	16,241,512	慶弔費	500,000
		事務費	30,000
		備品費	50,000
		予備費	8,361,675
		合計	10,741,675
		繰越	14,405,054

平成10年度 予算報告 平成10年4月1日(単位 円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前年度繰越金	14,405,054	行事費	500,000
10年度維持金(247名)	1,976,000	通信費	500,000
合計	16,381,054	印刷費	35,150
		印会費	82,211
		慶弔費	0
		事務費	64,720
		備品費	0
		予備費	0
		合計	1,836,458

聖香寮閉寮について

親元を離れて本学に通学する学生のための「聖香寮」が、平成十二年三月をもって閉寮することになりました。

港区にありました「高輪寮」より、昭和五年八月、鉄筋コンクリート三階建てとして現在の大田区西嶺町に移転して十九年、北海道から九州、沖縄まで全国三四八名の方々がこの「聖香寮」を卒業されました。

しかし、近年、施設の老朽化、家庭環境の多様化等により、止むを得ず閉寮することになりました。二年間の思い出詰まった寮を閉寮することは非常に残念ですがご理解賜われたいと存じます。

また、卒業生の皆様には、後日、閉寮式のご連絡を差し上げますので、ご出席賜われますようお願い申し上げます。

編集後記

西暦二〇〇〇年の歴史を刻む、この記念の年に川並香順先生の生誕一〇〇年の記念式典の特集号『ひじり』を皆様にお届けできるとを、大変幸せに存じます。

我が母校である聖徳大学及び聖徳大学幼児教育専門学校がますます発展し、優秀な人材が巣立って行くことが、私達の至上の慶びであります。